



韓国の伝統衣装

ハンボク (한복)

作成：韓国国際交流員 チャン・ハナ

みなさん、アンニョンハセヨ！夏が始まり、皆の服が半袖や薄着になりました。鹿児島は夏は早いですね。ところでみなさん、韓国の伝統服「ハンボク」についてご存知ですか？日本ではチマチョゴリと言われているようですが、韓国では「ハンボク」と呼びます。韓国ドラマで「ハンボク」を見た方もいらっしゃると思います。私は2年前、韓国で外国人向けにハンボクの着付け体験をするアルバイトをしたことがあります。大変でしたが、いろいろな国の人が伝統衣装に興味を持って体験をするのを見て、とてもやりがいを感じました。今回は韓国の伝統衣装「ハンボク」についてご紹介します。

人々がハンボクを着たのはいつから？

ハンボクの起源は韓国の三国時代(BC57-AD668)と呼ばれる時期の壁画から見られます。

現在のハンボクの形とはずいぶん違うことに気づきませんか？ハンボクは時代によって形が変化しつつ、朝鮮時代(1392-1910)の末期に現在のハンボクのような形が確立されました。上半身の衣服がどんどん短くなりました。



壁画「ムヨンチョン」

ハンボクの特徴



「ハンボク」は上下が分離しています。日本の着物は一体になっていますね。上半身の衣服をチョゴリと言い、男女とも共通です。下半身の衣服は女性用はチマ(裳)、男性用はバジと呼ばれます。ハンボクは活動性を重視した服です。

また、女性の下半身の衣服であるチマはAラインのスカートになっているので、どんな体型でもよく合い、座敷に適しています。また、優雅で美しい印象を与えます。



「ハンボク」はいつ着る？

お正月やチュソク(日本のお盆に当たる)、結婚式など特別な日に着ます。また韓国で満1歳を迎える時、着ることもあります。



日常で着ることは少ないですが、韓国の宮殿(昔、王が住んだところ)では、「ハンボク」を着ている人をよく見かけるといいます。「ハンボク」を着ると韓国の4代宮の入場が無料になります。周りにレンタルショップもあるので着て宮殿を歩いたら、昔のソウルを歩いているような体験ができると思います。



変化するハンボク

ハンボクの値段は高く着ると暑いことなど普段着としては難しいイメージがあります。最近は日常でも着られるようにした「改良ハンボク」、「生活ハンボク」を着る人が増えています。デザインは様々で、普通は女性のスカートが長いですが、すこし短かったり、ワンピースのようなハンボクもあります。私は霧島に来て初めての講座「新国際交流員と交流しよう」で生活ハンボクを着ました。このように、ハンボクは人々により気軽に着られるようになっていきます。



左ハンボク



生活ハンボク



改良ハンボク

今回はハンボクについて簡単に紹介しました。今まで韓国の伝統について紹介したことは少なかつたと思います。これからも色々な情報を載せる予定ですので、またぜひご覧ください。



国際交流員のイベントのお知らせ

English Hour



アメリカ

<初級・中級>

手紙やメールに使える表現を学びます。

- ・日時:6月10日(水)18時~19時(初級)
- ・日時:6月10日(水)19時10分~20時10分(中級)

<上級>

映画を視聴しながら、会話表現を学びます。

- ・日時:7月2日(木)18時~19時

* 場所:国分公民館3階中研修室

英語でティータイム

アメリカの医療制度を紹介し、日本との違いについて話します。

- ・日時:7月15日(水)14時~15時
- ・場所:国分公民館2階調理講義室



韓国

韓国カルチャー体験

ドラマ「応答せよ1988」を見ながら韓国文化を紹介します。

- ・日時:6月18日(木)14時~15時
- ・場所:国分公民館2階調理講義室

韓国語教室

服屋で使える表現を学びます。

- ・日時:7月16日(木)18時30分~19時30分
- ・場所:国分公民館3階中研修室

韓国国際料理キッチン

韓国定番のかき氷「パッピンス」を作ります。

- ・日時:7月29日(水)14時~15時30分
- ・場所:国分公民館2階調理講義室